



## 第48回会長杯 兼札幌中島LC Supportship 第3回Savannacup Sapporo

### フォーザ SC 優勝おめでとう!!

札幌少年団連盟主催グラウンドサッカーの締めくくりに、SSAP天然芝で行われた会長杯の決勝戦。肌寒い10月の三連



休でしたが、選手たちの熱い熱い11人制サッカーが繰り広げられました。優勝はフォーザ SC。以下に準決勝、決勝の様子をレポートします。

決勝戦		
10月10日(月)SSAP天然芝G		
フォーザ SC		元町 FC
1	1-0 0-0	0

# きずな

気温は低いものの、雨もやみ少しずつ晴れ間がのぞく中での決勝戦、元町 FC のキックオフでスタート。開始早々から両チームの激しいボールの奪い合いが続く。

最初のシュートはフォーザ SC。前半3分、6番の右サイドからのクロスをも13番がシュート惜しくもキーパーにはじかれる。同3分、今度は左サイドから19番のセンタリングをも16番がシュート惜しくもキーパーにはじかれ元町 DF にクリアされる。その後、今度は元町 FC の反撃。5分、元町9番が中央からドリブルで切れ込み中央からシュート惜しくもゴール枠をとらえることが出来ず。6分、12番から9番6番とつないで攻撃を仕掛けるもオフサイド。

お互い一歩も譲らない試合展開の中今度はフォーザ SC 攻撃。7分、フォーザ10番が中央からドリブルで仕掛けシュート。惜しくもキーパーにはじかれる。11分、今度は元町 FC 2番からの大きな縦パスを DF 裏に出し6番がシュートこれもキーパーに阻まれる。一進一退の攻防の中で両チームの GK のファインセーブが続く試合展開。

前半がこのまま終わろうとしている20分にゲームが動く。フォーザ SC 10番が中央からミドルシュート、キーパーがしっかり反応していたが弾いたボールはゴールに吸い込まれる。このまま前半が終了。フォーザ SC の1点リードで前半を折り返す。



後半フォーザ SC のキックオフ。開始早々フォーザ SC の攻撃ラッシュでスタート。開始 20 秒ロングパスから 6 番、13 番とつないでシュート惜しくもゴールポストに当たり外れてしまう。続いて 1 分、左サイド 2 番の CK から 8 番のヘディングシュートは枠を外れる。その後 3 分、今度は 2 番からのパスを 13 番が振り向きざまにボレーシュートは DF に当たってしまう。

その後中盤の激しい攻防から元町 FC の反撃。7 分、5 番の右サイドからミドルシュートは惜しくも枠を外れてしまう。同 7 分今度は右サイドからの CK16 番がヘディングシュートを放つが枠をとらえることが出来ない。9 分にも 3 番が中央ミドルレンジからシュートを打つが DF に当たってしまう。

お互いシュートまで持って行くがなかなかゴールをとらえることができず一進一退の攻防が続く中で試合終了。1-0 でフォーザ SC の 2 連覇が決まった。

準決勝第 1 試合		
10月10日(月)SSAP 天然芝 G		
元町 FC		L-WAVE
2	1-0 0-1 1 延前 0 0 延後 0	1

曇り空の中行われた第一試合。

前半開始 20 秒元町 FC がスルーパスからゴール前に運び 6 番が詰めるもキーパーが抑える。

一方の L-WAVE も 4,5 分と CK からチャンスを作るも DF にクリアされる。

両チームともシュートで終わるくらい攻撃の精度が高く均衡した試合展開の中、前半 12 分元町左サイド 8 番のコーナーキックから GK がはじいた所 5 番のヘディングシュートで先制。1-0 で前半終了。

後半に入り開始 20 秒 CK からの L-WAVE の攻撃。その後 4 分、7 分、8 分と立て続けにシュートを放つもゴールを割れず。

元町は開始 2 分の FK をキーパーに抑えられてからも縦に早いサッカーで攻めあがるも中々シュート

まではたどりつけず。

後半終了間際の 19 分 L-WAVE の FK。GK1 番がセンターサークル中央付近から直接決めゴール 1-1 引き分けて終了延長戦に突入。

延長前半 1 分に L-WAVE の FK10 番が直接ゴールを狙うも GK にはじかれる。同じく 2 分今度は元町 FC6 番が相手のバックパスを詰めてシュートしてゴール。延長前半 2-1 元町 FC1 点リードで折り返す。

延長後半に入っても元町 FC のペースで展開。後半開始 1 分、5 番のミドルレンジからのループシュートに始まり 2 分 3 分とシュートを放つ。最後まで攻撃の手を緩めなかった元町 FC が 2-1 で勝利した。

準決勝第 2 試合		
10月10日(月)SSAP 天然芝 G		
フォーザ SC		若葉ボンバーズ
5	3-0 2-0	0

時折雨が降る中での第 2 試合、フォーザ SC のキックオフでスタート。

前半開始早々若葉ボンバーズ 10 番が中央付近からシュート惜しくも枠をとらえることが出来ず。これでペースをつかんだ若葉がその後 1 分、8 番がペナルティーエリア手前中央付近からドリブルシュート惜しくもバーに当たる。

開始 5 分まで若葉ボンバーズのペースだったがフォーザ SC も中盤での細かいパス回しから徐々にリズムを作り始める。前半 7 分、フォーザ 13 番が左サイドからセンタリングは DF にクリアされるも 8 分、今度は縦のロングパスからフォーザ 10 番がゴール前に詰めゴール左隅に流し込んでゴール。1-0 フォーザ SC が待望の先取点を挙げる。

その後も中盤を抑えたフォーザ SC が 12 分、若葉 GK のはじいたボールを 10 番が押し込み 2-0。13 分今度は右サイドから 13 番のクロスに 6 番が飛び込んでシュートこれが見事にゴールに入り 3-0 で前半を終える。

後半、若葉ボンバーズのキックオフでスタート。

開始早々フォーザ SC が前半の勢いをそのままに攻撃を仕掛ける。後半 4 分、16 番のパスから 10 番がゴール左隅に流してゴール 4-0。同じく 7 分中央から 10 番のシュートをキーパーがはじいた所 13 番がゴール右にシュートが決まって 5-0。

流れがフォーザ SC に傾いたかと思われたが若葉ボンバーズも反撃を試みる。後半 8 分、9 分と縦パスを上手く使いゴール前にボールを運ぶも相手キーパーに阻まれる。

その後は中盤を抑えたフォーザ SC のペース。12 分、10 番から 13 番、19 番とつなぎ 19 番のシュート惜しくもゴール枠は外れたが見事なパスワークを見せる。13 分の 19 番のシュート、15 分 10 番の FK から 8 番のヘディングシュート、19 分左サイドからの 20 番のシュート惜しくも枠は外れたが攻撃の手を緩めなかったフォーザ SC が 5-0 で勝利。

若葉ボンバーズも 10 番を中心に攻撃を展開したが中盤の厚いフォーザ SC の前に中々シュートまで結びつけられなかった。一方のフォーザ SC は中盤から細かくパスを回しシュートまで確実につなげたことが勝因になった。



以下は、8日、9日の様子です。

